平成29年度第15回市営保育所移管先選定部会 摘録

日 時：平成30年3月5日（月）午後5時30分頃から午後6時50分頃まで

場 所：職員会館かもがわ 大会議室

出席委員：安保千秋，鎌田高雄，川北典子，高田光雄，菱田不二三

（敬称略：五十音順）※計5名（岡委員，土江田委員，安井委員欠席）

【中澤保育内容向上課長】

ただ今から，平成29年度第15回市営保育所移管先選定部会を始めさせていただきます。皆様方におかれましては，大変御多忙のところ御出席を賜り誠にありがとうございます。

なお，岡委員，土江田委員，安井委員におかれましては，所用のため欠席されております。幼保企画課長の長谷川は所要のために遅れております。申し訳ございません。

私は本日司会を務めさせていただき幼保総合支援室保育内容向上課長の中澤と申します。よろしくお願いいたします。

会議の開催に先立ちまして，携帯電話をお持ちの方は電源をお切りいただくかマナーモードに設定していただきますよう御協力をお願いいたします。また，会議の秩序を乱し，又は妨害となるような行為が認められた場合は，京都市子ども・子育て会議運営要綱第6条に基づき，退場を命じることがありますので，あらかじめ御了承願います。

本日の会議につきましては，市民の皆様には議論の内容を広くお知らせいたしますため，京都市市民参加推進条例第7条第1項の規定に基づき公開することとしておりますので，あらかじめ御了承いただきますようよろしくお願いいたします。また，本部会は委員数8名のところ，5名の委員に御出席いただいておりますので，本部会が成立していることを御報告させていただきます。

続きまして，本日の資料の御確認をお願いいたします。1点目が『京都市崇仁保育所の民間移管に関する保護者御意見』，添付の参考資料が資料1から5まで，2点目が『第15回選定部会における審議事項』，3点目が『崇仁保育所移管先法人募集要項（案）』となります。不足等はございませんでしょうか。

それでは，ここからは安保部会長に議事の進行をお願いしたいと存じます。安保部会長，よろしくお願いいたします。

【安保部会長】

以後，私の方で進行させていただきます。御協力をよろしくお願いいたします。

最初に，前回の選定部会での保護者との意見交換について，私の方から，保護者の皆様に順序よく御発言いただかず，進行に不備があったことについてお詫び申し上げます。

【菱田委員】

前回の意見交換会で、保護者から意見交換をしないと発言があったので、私の方から発言しました。第12回選定部会において保育所の名前を出したということについては、反省して謝罪したのですが、再度同じことを話されたので、直接確認したく発言しました。大きな声を出してしまい申し訳なかったと思います。大変申し訳ありませんでした。特定の名前を出すということについて、今後はないように気をつけてまいります。今後もよろしくお願いいたします。

【安保部会長】

前回保護者の皆様から御意見をいただいたことについて、事務局の方から何かございますか。

【村上公営保育所課長】

事務局としても、選定部会委員の皆様きちんと説明ができていなかった点があったこと、選定部会委員の方に対して御迷惑をお掛けしたことについて、大変申し訳ございませんでした。

意見交換に出席された保護者の方は、未だ取りまとめられていない募集要項（案）に対して意見するというのは無理なことと説明されましたが、これまでから募集要項（案）については複数回の審議を経て確定しています。

このため、これまでの意見交換は、選定部会で募集要項（案）を提示したものを保護者説明会で説明し、意見交換を実施してまいりました。

特に今回は、保護者から要望に応じて第13回選定部会で行う予定であった意見交換を第14回に延期しており、そのため第13回選定部会で委員から出された意見を保護者が募集要項の修正が行われたと誤解しているものであり、本市としては、あくまでも第12回選定部会で本市が説明した募集要項に対して意見交換をしたいと考えておりました。

また、本市としても、資料1の参考として添付しておりますが、保護者説明会以後、選定部会の内容を保護者の方にお伝えするため、資料が膨大であり読み込む時間もないことから、選定部会の概要版を作成し保護者の方全員に配布しておりますので、意見交換できない状況ではないと判断しております。

前回の選定部会では、保護者の方の御意見についてはお聞きしましたので、前回の選定部会終了後に、選定部会委員から保護者にお聞きする項目について確認しました。

その内容を意見票にまとめ、保護者全員に2月23日に配布いたしました。締切りを3月2日としており、今回資料として添付しております。

資料1を御覧ください。

まず、(1)のクラス担当の保育士については、「決まってもいないことに対して意見を言うことはできない。説明が不足している。」「当然、市と法人の双方で保育にあたり、市の保育の質を引継ぐべきだと思います。」「年齢や子どもさんにもよっても

違うと思うので、どちらがよいか悩みます。とにかく何かあった時に、きちんと責任をもって対応していただくことを望みます。」との御意見がありました。

選定部会に募集要項を提示後、より多くの保護者の方に説明するため、5回の説明会を開催しております。また、先ほど紹介しました概要版を選定部会資料とともに配布していることから、説明が不足しているということはないと考えております。

続いて、(2)の市の保育士の派遣期間については、「5年、3年の根拠は何か。効率ではなく、保育の責任を果たせる方法を示して欲しい。」「市の保育士の担当日数、時間、どのような立場の人が行くのか、これまでの説明や資料をみても全くわかりません。きちんと説明会を開いてください。」「今のままでは情報が不足、意見が書けません。方針がコロコロ変わっていてとまどっています。」「どちらであっても子どもをきちんと見ていただければいいです。」との御意見がありました。

当初案で示しておりました、5年間につきましては、移管の前日に在所している児童が卒所するまでの期間を想定したものであり、繰返しになりますが、5回の説明会と説明会の摘録で御説明いたしました。また、3年についても、保護者の意見及び市の保育士の意見を踏まえ、選定部会で審議いただき修正に至ったものです。現在入所されている児童が卒所するまでは、市の保育士を派遣し保育に携わることとなります。

次に、(3)の園舎の整備については、「全てにおいて、現崇仁保育所を下回ることはあってはならないと思う。」「広い園庭、園舎を気に入って入れてます、現在の設備は最低限用意してほしいです。これだけ狭くなると今の保育を維持するのは不可能だと思います。」「園庭を広くしてほしい。今の崇仁保育所の園庭やプールの広さはそのまま引継いでほしい。子どもたちがのびのび遊べる環境にしてほしい。予算をケチらないでほしい。」との御意見がありました。

面積は限りがありますので、現状と同等にすることができない状況です。民間移管ではなく、公営保育所で建てる場合であっても予算を伴いますので、面積基準を基に整備していくことになります。

最後に、(4)のその他の御意見については、「なぜ重要な検討事項の説明会をしてくれないのか。この状態では回答できない。」「京都市の進め方、説明会がない、資料は選定部会資料のコピー丸なげで、要点のまとめ、保護者がわかりやすいように配慮すらない。すべてに不満があります。その京都市が一方的に進める民営化には、不安しかありません。せめて説明会は開いてほしいです。今のままでは意見もだせません。」「保護者同士が様々な意見を出し合えるように保護者説明会の場を設けてほしい。」との意見がありました。

先ほど御説明させていただいたとおり選定部会後に資料や概要、摘録を全保護者に配布しており、状況についてお伝えしているところでございます。

参考1は今回保護者の方々にお配りした資料、参考2、参考3は保護者に配布した選定部会の概要になっております。参考4については1月22日に、本市から保護者の方々に対して民間移管に関する御意見をお伺いいたしました。保護者からの回答はありませんでした。

次に、参考5についてですが、昨晚、崇仁保育所育成会の方からメールで資料が届き、本日の選定部会の資料としていただきたいとの記載がございましたので、資料を添付しております。資料は崇仁保育所育成会が実施した意見交換会に向けての保護者アンケートについてのものであり、実施状況としては2月8日配布、2月17日を締切りで回答数は20枚とのことでした。内容としては崇仁保育所育成会の方が各項目でまとめていただいているものとおります。

1 ページには保育時間についての要望や日常の保育について布団やおむつについての御意見の記載がございます。

2 ページのQ3には日常の保育のうち運動や遊びについての記載があります。広い園庭での遊びは魅力的であるといったことや、家でできない遊びを経験させてもらっているのでそれを引き継いで欲しいといった内容の記載があり、Q4では行事の内容を引き継いで欲しいという御意見の記載がございます。乳児は現在運動会に参加しておりませんが、今後は参加できるとよいといった御意見の記載もがございます。

3 ページのQ5の給食やおやつについては満足しているという御意見が多く、民間園でも継続して欲しいという御意見や、現在食育に力を入れてもらっているので継続して欲しいという記載がありました。Q6の保育士とのコミュニケーションについては、現在先生とのコミュニケーションによって非常に助けられている、1日の様子を伝えてもらえる、担任の先生以外も顔と名前を覚えてその日あったことを伝えてくれるといった御意見の記載がございます。

4 ページのQ7の新園舎、園庭などの整備についても、広く子どもたちがのびのび過ごすことのできるものを作って欲しいという御意見や、常設のプールを作って欲しいとの御意見の記載がございます。

5 ページのQ8の移管後の保育士の引継ぎについては、本市でもアンケートを取りましたが、こちらにも御意見の記載がございます。今回提案させていただいたような形ですべきとの御意見もあれば、卒園するまで市の保育士が見るべきとの御意見もありました。また、在園児の卒園後も別枠で市の職員が必要との御意見の記載もがございます。

6 ページでは保育士が働きやすい環境を求める御意見や、先生に不安があれば子どもも感じるという御意見、双方の保育士が同じ方針のもとで保育することを望むといった記載がありました。これまで選定部会、保護者説明会で聞かれた御意見についても改めてこちらに記載されています。Q9の京都市に対する意見・要望については、ほとんどの御意見が民営化は突然の話であり、本市の対応について信頼できないといった御意見が多数ございました。財政面ばかりなのはどうかとの御意見が多く記載されていました。

7 ページのQ10の、移管先の園に対する意見・要望では、障害のある子どもたちを大切にしたいとの御意見や、送迎バスがあればとの御意見の記載もありました。

今回、育成会の方に取りまとめていただいた御意見に加え、アンケート回答以外の回答として2点記載していただいております。1点目は障害児保育についてです。以

前保護者の方が来られた際に読み上げていただいたことについて再度記載いただいております。2点目は園舎整備と定員についてです。今回定員が30名増の170名となり、移転後の土地面積は現在の面積よりも減ることになります。これまでの選定部会の資料からは、現在の人数で移転した場合児童一人当たりの面積が現在の4割程度になるにもかかわらず、定員も増やすと35パーセントになるので、定員を増やすのは止めて欲しいということに記載いただいております。以上の保護者の御意見を記載した資料になっております。大変長くなりましたが、保護者の御意見をまとめて御紹介いたしました。説明は以上です。

【安保部会長】

ありがとうございました。崇仁保育所育成会からの資料を配布していただきました。この点について質問や御意見はございませんか。参考として育成会からの資料を提供していただき、また、様々な御意見をいただきありがとうございます。今回御意見をいただきましたが、募集要項には、法人に対する要望を保護者のページとして付けていただいています。その点についてはいかがですか。

【村上公営保育所課長】

育成会の方にも、今回も保護者のページを添付することをお伝えしております。前回の選定部会終了後の2月末にも、一定の期日を定めて提出していただきたいと依頼いたしました。それに対して、「提出はする。期日まで間に合いそうにないが、3月14日までには提出する。」とお返事をいただいています。

【安保部会長】

御協力いただきありがとうございます。今回いただいたアンケートから、保護者の方は様々な御意見をお持ちだということが分かりました。他に御意見や御質問はございませんか。それでは、事務局にお願いしたアンケートが資料1に添付されていること、加えて、今回育成会から書面をいただいたと確認しました。

それでは、本日の審議事項に入りたいと思います。まず、整備計画の配点について、事務局から資料の説明をお願いいたします。

【村上公営保育所課長】

資料2を御覧ください。

「点数配分」につきまして、前回の選定部会では、「他都市との比較もあるが、事業計画の比重を高くしても良いのではないか。整備計画の配点を事業計画に移してはどうか。」「運営実績より事業計画にウェイトを置いた方が良いのではないか。」「これまで運営実績と事業計画は同じ割合として選定部会で議論してきた経過があり、両者は同じ割合で検討した方が良いと思う。」「これまでやってきた運営の評価より、より高いレベルの運営を求めるのであれば、事業計画を高くすると良いのではないか。」

整備計画は事業計画と連動しており、事業計画が良いものでなければ、良い整備計画は出てこない。点数配分としては、これまでの案どおりで良いのではないか。」といった御意見をいただき、整備計画の点数配分について、当初の案のとおり50点とする案と、30点程度に下げる案の2案で、再度議論していただくこととなりました。

それぞれの点数配分の案を記載しておりますので、御審議のほどお願いします。説明は以上です。

【安保部会長】

ありがとうございます。この点については、前回結論が出ず委員の皆様にご検討をお願いしていたところです。御意見を順番に伺いたいと思います。高田委員はいかがですか。

【高田委員】

求められていることをこの敷地で実施するためには、この保育所のために尽力し色々なことを検討していただく必要があると感じます。

子どもを育てる環境としてどうかといった根本的な問題に立ち返って事業計画を立てていただきたいと強く思います。整備計画はそれを受けた施設になっているかが重要です。設計がまずければどんなに良いポリシーを持っていても実現しません。子どもを育てるための環境がきちんとフィジカルまで落ちるようになるためには、限られた時間の中ではありますが、この敷地、この事業のために考えを整理し、その考えが設計まで落とし込まれているということが重要だと思います。整備計画が重要だと言った背景にはそのような趣旨があります。運営実績は応募した段階で決まっているもので、努力して良くなるものではありませんが、事業計画と整備計画は事業者が努力して良くすることのできるものです。事業者の努力を評価するとしなければ、最終的に設計までたどりつかないのではと危惧するところですので、できれば案1の方が良いと思います。

【安保部会長】

ありがとうございます。川北委員はいかがですか。

【川北委員】

運営計画と事業実績は同じ割合で良いと思います。整備計画は子どもたちがこれから生活をする大事な場所の環境をどのように整えるかについてのことであり、重要なことですので、重点的に考えていった方が良いと考えています。配点も30点より50点の、案1が良いと思います。

【安保部会長】

ありがとうございました。菱田委員はいかがですか。

【菱田委員】

各委員の先生方の話を聞くと、案1の方が良いのではないかと思います。

【鎌田委員】

参考として他都市の平均を見ると、それよりも一段高い点になっております。そのような点が妥当かは判断が非常に難しいと思います。さらに、整備計画では資金面で法人がどのような資金運営をするのかも審査しなければならない点だと思います。他都市平均として整備計画は12.3パーセントという割合であります。運営・事業・整備は同じくらいの水準で良いと思います。ただ、整備についてどういうことを重点的に見ていくかが重要ですので、案1では50点になっていますが、整備計画はできるならもう少し高い点数でもよいのではないかと考えております。

【安保部会長】

本日御出席いただいていない委員の方もいらっしゃいますが、前回御意見をいただいております。案としては前回と変わらない形で再度検討しましたが、整備計画の重要性について再認識いたしました。この点について部会としては案1とすると確認いたしました。

そうしましたら、これまでの審議を踏まえた募集要項案について事務局から説明をお願いいたします。

【村上公営保育所課長】

募集要項案について御説明させていただきます。

資料3を御覧ください。これまでの選定部会での審議結果を反映しているほか、移転先の土地や建物に係る関係機関との協議結果を踏まえて、修正を行っております。主な修正箇所について御説明します。

6ページの「4 移管先候補者選定スケジュール」を御覧ください。申請書類の受付期間について、「申請資格を確認する書類の受付期間」と「申請資格の確認に必要な書類以外の書類の受付期間」の2つに分けております。

8ページの「(2) 申請方法」を御覧ください。申請に当たっては、まず、申請資格を確認する書類として、事業者の概要・財務状況等に関する書類を提出していただくこととし、提出期間は応募開始からおおよそ1箇月後を予定しております。提出していただいた書類を基に、事務局で申請資格の有無を確認し、1週間後を目途に申請者全員に申請資格の有無について回答します。その後、申請資格を満たしている申請者は、事業者の概要・財務状況等に関する書類以外の書類を提出していただくこととなります。

今回の崇仁保育所の移管先法人の募集につきましては、これまでの民間移管と異なり、新施設の整備を伴い、設計等が必要になることから、まず、申請資格の有無につ

いて確認し、申請資格がなかった場合の設計図作成等に係る負担軽減を図るものです。

続いて、10ページの「6 移管に係る基本的事項」を御覧ください。まず、(2)として定員を明記しております。これまで、定員は170名で検討していましたが、移転先の地域における直近の保育ニーズを確認し、定員を150名に改めております。

次に、「(3) 本市職員の派遣」につきまして、これまでの選定部会での審議結果を踏まえ、派遣期間については3年間としているほか、給与支給の取扱い等について追記しております。

なお、これまでの審議を踏まえ、派遣終了後、派遣とは別に市の保育士による保育の見守りが必要かどうかについては、派遣期間終了前年度の三者協議会で協議することとしており、最長2年間の対応ができるよう記載しております。

市と法人それぞれの職員体制につきましては、12ページを御覧ください。選定部会での審議結果に基づき、歳児ごとの保育士配置イメージを記載しております。移管日の前日に在所している児童が在籍するクラスについて、平成32年度は法人の保育士が1人ずつ、平成33年度は法人の保育士が2人ずつ、平成33年度は市の保育士が1人ずつ配置される形となっております。

続いて、15ページの「8 移管先候補者選定後の手続」を御覧ください。「(3) 土地貸付契約」につきまして御説明します。まず、5ページにお戻りください。

敷地概要の貸付部分には、南側の保育所用地の中に国有地が2筆含まれております。現在、土地を所管している財務省と土地の利用又は取得に向けた協議を行っております。

続いて、16ページを御覧ください。イの保育所用地の貸付けに当たっては、定期借地契約を締結することになりますが、保育所用地の中に国有地が含まれていることから、まず、本市と国が定期借地契約を締結し、転貸の承認を得た後又は本市が買収した後に、50年間の定期借地契約を締結することになります。ウの貸付料につきましては、現在調整中ではありますが、平成30年度は、年額195万円を契約日が属する月を含めて月割もしくは日割した額とします。ただし、不動産鑑定評価額がこの額を下回る場合は、当該評価額を契約日が属する月を含めて月割もしくは日割りした額を貸付料とします。平成31年度以降は、前年度の公定価格に基づき定員に応じて本市が定めた額と不動産鑑定評価額を比較し、低い額を貸付料とします。

なお、現在不動産鑑定評価を依頼中のため、評価結果が出次第、別途幼保総合支援室のホームページで公表します。そのほか、保証金や瑕疵担保に関する条項等を追記しております。

次に、20ページを御覧ください。「(4) グラウンド」につきましては、現在、京都市下京渉成小学校の第二教育施設として使用されていることから、使用範囲や利用料金等については、事前に京都市、稚松連合会、移管先法人の三者で協議のうえ、定めることとしております。

「(5) 既存施設（体育館及び管理棟）の譲渡」につきまして、譲渡額は不動産鑑定評価額とし、評価額の3/4について、本市からの補助を予定しております。なお、

保育所のホール等としての使用が想定される体育館については改修を、管理棟については、耐震改修又は建替えを実施していただくこととしております。

21ページの「(6) 新施設の建設」につきましては、これまでの募集要項(案)にも記載しておりました基本的な条項に加え、22ページに整備の条件等を追記しております。なお、駐車スペースについては、これまで10台程度としておりましたが、8台程度に変更しております。

続いて、移管後の運営に係る基本事項について説明します。32ページを御覧ください。前回までの審議を踏まえ、保育士の要件を追加するとともに、市の保育士の派遣についても記載しております。

最後に、117ページを御覧ください。申請書類の整備方針における様式につきまして、前回の選定部会の審議結果を受けて、PR欄を設けています。

説明は以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

【安保部会長】

事務局から説明を受けましたが、委員の方から御意見はございますか。

【高田委員】

質問ですが、図面についてどの程度のものが提出されるか心配です。縮尺も書いておりませんがこのような形で特に問題はなかったのですか。

【村上公営保育所課長】

これまでは整備を伴っておりませんでした。既存の建物を使用する形でしたので、図面の添付はしておりませんでした。

【高田委員】

空間に関する提案を求めるのは今回が初めてですか。新築であるなしにかかわらず、どういう施設になるかのプレゼンテーションはなかったのですか。

【村上公営保育所課長】

市営保育所については、今回が初めてになります。

【高田委員】

設計者についてはどう考えておられますか。施工者は決まっていなくても、設計者はおられることが募集の前提と考えてよいですか。

【村上公営保育所課長】

応募を考える法人にとっては、どうしても設計の方に頼ることになります。おそらく設計の方はいると思います。

【高田委員】

設計の方がおられることが前提ですね。設計者が誰かは聞いてもよいのですか。

【長谷川幼保企画課長】

図面については、募集要項案34ページに測量図を付けております。コピーの都合上でかなり縮小されていますが、事業者から原本を確認したいという申し出があったら、こちらで閲覧をしていただくことが可能です。

設計事務所については、隠さなければならない情報ではありません。図面を提出していただく際に必然的にどこが設計したか記載される形になると思います。

【高田委員】

どこが設計したか書く欄があったら明快だと思います。ただ、制度上のことが良く分かりませんので、設計者を書かせることで他の審査にどのような影響を与えることになるのかは分かりません。きちんと設計をしていただくための手続きを踏むようにしていただきたいと思います。名前が出るということはその人の責任のもとで設計されたということですので、名前を書いた方がより責任のあるものになると一般的には考えられるだろうと思います。ほかに与える影響を含めて御検討ください。

今日いただいた保護者の方の御意見にあったとおり、屋外空間、建物の外部と内部の関係は非常に大事です。住宅でいえば縁側や玄関土間に当たる部分がどのように設計されているのか、閉鎖的で魔法瓶のような構造なのか、外と内がつながるグラデーションのある構造なのかは図面を見れば分かります。ただ、それはきちんとした建築の図面が出なければわかりません。現在の募集要項案に載っている崇仁保育所の部屋の案内図のようなものでは分かりません。

屋外空間についても、単なる図面としてではなく、きちんとデザインされたものでなければ分かりません。配置図という時、屋外空間の設計も含まれていると普通は考えますが、そういうことがきちんと伝わる形にして欲しいと思います。

屋内空間についても、フレキシブルに使うことができるか、条件によって部屋の広さが調節できるか、落ち着いた空間をつくるために、アルコーブが作れるような環境になっているかが大事です。アルコーブが作れるといった諸目的に対応して、各コーナーを配置し、それを動かすことで屋内空間を簡単に作っていけるような、コーナーセッティングの仕組みがあるということを図面から読み取れないと、良い設計かは分かりません。

設計者ならシチュエーションによって部屋がどのように変わるか図面に表現するはずですが、平面図や断面図が書いてあるだけでそのようなことが必要だと伝わるか気になります。

【長谷川幼保企画課長】

118 ページ整備内容①の整備後の施設のレイアウトの部分についてより詳細に記載したいと思います。

【安保部会長】

添付文書や添付図面について、添付しているところと添付していないところがあると審査できませんので、建築内容がよく分かるような資料をこちらから指定するよう具体的な内容を書き込むということによいですか。

【村上公営保育所課長】

そのような形で修正して、皆様に御確認していただきたいと思います。

【安保部会長】

建築に関して、また高田委員に御意見をいただき、事務局の方で添付図面と添付書類を付け加えるということによいですか。その他の点についてはいかがですか。

【川北委員】

12 ページの保育士の職員配置について、休憩・休暇対応保育士が法人から2名になっております。派遣される市の保育士が病気や育児休業になることも考えられますので、この部分については市と法人で1名ずつ入っていただく方が保育の引継ぎもスムーズだと思います。

【安保部会長】

この点についてはいかがですか。

【村上公営保育所課長】

今までの法人2名だと、市の職員が休んだ場合の対応として法人の先生が入ってくることになりますので、先生のおっしゃったような形になると思います。3年という限られた引継ぎ期間を考えると、その方が引き継ぎやすく好ましいと思います。

【安保部会長】

12 ページの休憩・休暇対応保育士については、法人1名、市1名に変えるという御提案がありましたが、その点についてはいかがですか。

それでは、各1名とすることで確認します。

その他の点についてはいかがですか。

【鎌田委員】

20 ページで、グラウンドについては事前に京都市、稚松連合会、移管先法人の三者で協議するとなっていますが、管理棟や体育館についてはどのように考えています

か。

【村上公営保育所課長】

グラウンドは教育委員会の所管で、本市の土地になりますので、使用方法について協議すると記載しております。体育館と管理棟については、本市の建物ではありませんが、法人に売却しますので、法人所有となります。現在、体育館と管理棟についても、地域の方に御利用いただいておりますので、使用について移管先法人と協議していきたいと思っております。管理についても、法人と本市と自治会とでお話しさせていただきたいと考えております。

【鎌田委員】

下京渉成小学校の校長にもその旨をしっかりと伝えていただきたいと思えます。

【村上公営保育所課長】

現在教育委員会ともお話しさせていただいておりますが、校長先生とも具体的にお話しさせていただきたいと思えます。

【安保部会長】

他にいかがですか。

【菱田委員】

定員が170名から150名に減っておりますが、ニーズについてはどうなのでしょう。

【長谷川幼保企画課長】

定員の考え方について、下京区では五条通に近い方がニーズは高いということで、定員を引上げて170名にすることを検討していましたが、この4月1日向けの入所調整の中で、開智認定こども園ができたということもあり、30人増まで増やさなくてもよいと判断したところです。ただ、ニーズの高い場所に近づきますので、保育を利用したい方が入所できるような施設を整備する必要があると考えておりますので、今回の入所調整を見て、140人から150人に増やす形で判断しました。

【安保部会長】

この点について御意見ございますか。

【川北委員】

今年の保育ニーズから判断したとおっしゃっていましたが、将来的な展望はありますか。

【長谷川幼保企画課長】

保育ニーズについては、子ども・子育て支援事業計画を定めて中期的なニーズの推移の予測を立て、それに基づいて整備を進めております。事業計画上、下京区については保育ニーズが増加していくとなっておりますが、より小さな地域の保育ニーズについては、それぞれの施設整備が行われ、入所調整をする中で変化していきますので、そういったところをきめ細かく精査したうえで確認していくべきだと思っております。

【安保部会長】

定員が少なくなることによって、障害のある子どもたちが締め出されることのないように考えていただきたいと思っております。

【村上公営保育所課長】

今回、定員を150名にさせていただきますが、民間園でも定員にある程度余裕を持って整備されると思われまます。150名を超えてはいけないことはありません。ニーズがあれば利用調整の中で入所できるように進めていきたいと思っております。

【安保部会長】

障害のある子どもについて御意見がありましたが、運営実績のところでも今までどのように受入れを行ってきたかをしっかり見るような要項になっております。今まで民間移管をされた保育園では、どのように障害のある子どもの受入れを行っていますか。

【村上公営保育所課長】

個別の園が何人受入れをしているかについて、本市としては公表しておりませんが、民間移管した保育園総体としては増加傾向で、多く受け入れていただいております。民間移管によって受入数が少なくなっていることはございません。今回の崇仁保育所の移管についても、募集要項及び保護者のページ、これまでの状況を理解いただいたうえで御応募いただくこととなりますので、同等の受入れとなると思っております。

今回は、市の保育士が派遣されるということもあり、現在おられる保護者の方々には御安心いただきたく思いますし、3年間の中で法人に障害児保育を伝えることによって、それ以降も引続き受入れができるようにしていきたいと考えております。

【安保部会長】

12ページに、職員の派遣終了後については、終了前に三者協議会で市の保育士による保育の見守りが必要かを検討されるということでしたが、それがどのようにされるかということについては三者協議会で決めるということが良いですか。

【村上公営保育所課長】

子どもたちと法人の職員との関係ができているだろうということで、基本的には3年間で引継ぎを行います。それ以上は必要ないと思われませんが、どのようになっているか分からないということもあり、派遣はありませんが、平成34年度の三者協議会で実情を踏まえて保育を見守っていく形になります。見守りの頻度もその時の状況を見る形になります。当初は5年でしたので、最長2年としております。

【安保部会長】

要項に関して他に御意見はございませんか。

【鎌田委員】

崇仁保育所の場合、障害児の対応はどうしていますか。専門家の人がいるのですか。

【村上公営保育所課長】

崇仁保育所に限らず、市営保育所では、障害児保育に特化した職員がいるわけではありません。経験のもと、個々の様々の特性や状況を見て、個別に支援をする中でさらに経験を積み、それを伝えるという形で対応してまいりました。

【鎌田委員】

障害児のことが非常に問題になっており、今後増えてくると思いますので、新しい保育園にはできる限り支援できる人を入れ込んでいくようお願いいたします。

【村上公営保育所課長】

御意見にもありましたが、障害児については現在公営の入所数が多い状況です。本市としては今後崇仁保育所にかぎらず、民間園についても入っていただけるようにすることが重要だと考えております。本市の保育で積み重ねてきたものが、こういった形でお伝えすることができるか具体的に検討していきたいと思っております。

【安保部会長】

ほかに御意見はございませんか。本日は整備計画に必要な図面と書類と添付していただくように補記していただくよう確認しました。図面については技術的な部分がありますので、高田委員の御意見をいただいたうえで、事務局でまとめていただき、私の方で確認させていただきたいと思っております。それでよろしいでしょうか。では、そのような形で進めたいと思っております。ほかに御意見がなければ、募集要項案については確定したいと思っております。

【川北委員】

募集要項案のことではないのですが、面積が少なくなるということをお保護者の方々

は御心配されておりました。崇仁保育所には個人的に入らせていただいたことがあり、園庭が広いことを存じております。今後現地視察をすることになりますが、図面に記載のある稚松公園は散歩に出かけるなど保育の中で利用ができるような公園ですか。

【鎌田委員】

保育園や幼稚園の方が稚松公園に来て遊んでおられます。グラウンドも開いている時は遊べばよいと思いますし、環境も良いです。北側にも大きな公園があります。南側にある枳殻邸も使うことができると思います。

【川北委員】

園庭が広いに越したことはありませんが、安全面を考えたうえで利用できるところがいくつかあれば工夫できると思います。そうであれば移転に関する安心材料になると思います。

【鎌田委員】

見学の際に見ていただければ分かると思います。

【安保部会長】

募集要項案以外で御意見はございますか。

それでは、本日の審議はこれで終わりたいと思います。

最後に、3月1日に崇仁保育所育成会から、京都市長、京都市子ども・子育て会議会長、市営保育所移管先選定部会宛に「抗議書兼要求書」が提出されました。

4つの要求があり、そのうち選定部会に対しては「保護者会との意見交換会を実施する。」ことの1点でした。

この点に関して、選定部会として保護者の方全員に意見票を配布し、日程を調整し意見をお聴きしたところですが、選定部会のスケジュールとしてはそのまま進めてまいります。また、保護者の方全員からまとまった意見で意見交換をしていただけなかったことは残念ですが、今回事務局を通じて御意見をいただきましたので、再度意見交換は実施いたしません。その点についてはよろしいですか。それでは、意見交換は再度実施しないということで確認いたしました。他の要求については当部会でお話しすることではございませんので、事務局から御説明をお願いいたします。

【村上公営保育所課長】

先ほど部会長から説明があった4つの要求のうち、選定部会に対する要求は「保護者会との意見交換会を実施する。」ことでしたが、その他の3つの要求は「京都市長は安保千秋部会長及び菱田委員を解嘱する。」「京都市子ども・子育て会議会長は安保千秋部会長及び菱田委員を市営保育所移管先選定部会の委員から解任する。」「京都市子ども・子育て会議会長は安保千秋部会長を部会長から解任する。」の3点です。

子ども・子育て会議及び当該選定部会については、「京都市子ども・子育て会議条例」に基づき運営しておりますが、当該条例には、委員の解嘱を第三者が請求する法的根拠はございません。なお、抗議文兼要求書については、本市から京都市子ども・子育て会議会長に送付しております。抗議文兼要求書については、以上です。

併せまして、前回の選定部会の保護者との意見交換におきまして、保護者の方が説明された内容について、京都市の見解を述べさせていただきます。

当日、保護者の方からは、適正な順序を踏んだうえで、意見交換の開催について検討するよう要望されるとともに、5つの点について京都市と選定部会のあり方について伝えたいことがあると説明をされました。

このうち、意見交換の開催については、今部会として実施しないという形になりましたので、要望いただいた5点について御説明いたします。

1点目「保護者による活動が知られていない、保護者有志が行ったアンケート結果が伝えられていないなど、選定部会委員への説明がされていない。」

崇仁保育所移転整備の経過等については、第11回選定部会において説明し、これまで保護者の方が一番心配されている児童への負担を軽減する方法について御意見をいただき、また保護者説明会での保護者意見を踏まえ、募集要項（案）の策定を進めてまいりました。

2点目「意見交換のタイトな日程のため、延期を申し入れたが、京都市の対応に誠実さが感じられない。」

まず、意見交換の実施にあたり、本市としては、6回もの事前の保護者説明会の実施等により、保護者の不明点をお聞きし、全て回答しております。このうえで、当初1月16日に実施予定であった保護者と選定委員との意見交換の日程について、1月29日、2月6日、さらには2月16日に開催する崇仁保育所育成会の総会で意見を取りまとめるため、それ以降に期日を変更して欲しいとの保護者からの申し出があったことを受け、最終的に2月20日まで延期するなど柔軟に対応してきたところであり、一方的に日程を決めてきた訳ではございません。

3点目「京都市から選定委員に対して情報不足であり、選定部会は、保護者の置かれた実態とずれている。」

5点目とも重複しますが、意向調査について、京都市から新しい選定部会委員に対して十分に説明できていなかった点については、申し訳ございません。

障害児の受入れにおいて、民間移管後、当該園では障害児を受入れが減るような内容となっていました。これまで民間移管しました保育園総体として受入数は増加しており、崇仁保育所移管後の保育園において懸念されることはないと考えます。

障害児が地域の身近な園に入園できるよう引き続き、取り組んでまいります。

4点目「民間園の保育の質についての議論」ですが、法人の選定過程において、事業計画及び運営実績の確認、また現地視察を実施し、審査を行っております。法人決定後は、三者協議会による保育所運営について確認をしております。保護者の方の提出された資料において、民間移管で受けている影響において、当該民間園であっ

たかのように記載されていますが、誤認である箇所がありますので、この場で説明させていただきます。説明は以上です。

【安保部会長】

事務局から御説明いただきました。他にないようでしたら、本日の部会はこれで終了したいと思います。

進行を事務局にお返しいたします。

【中澤保育内容向上課長】

本日は長時間にわたり御審議いただき、誠にありがとうございました。

以上で、平成29年度第15回市営保育所移管先選定部会を終了させていただきます。委員の皆様には、この後事務連絡がございますので、しばらくお待ちいただきますようお願いいたします。

傍聴の皆様におかれましては、お忘れ物のないよう御退出ください。ありがとうございました。